



佐藤七段との子供たちとの将棋



柳澤さんと子供たちとの対局

プロフィール

やなぎさわ
柳澤

あきら
明 (59歳) 埼玉県より移住

プロのレベルの高さに触れた「子ども将棋教室」

日頃は農業振興を中心に活動していますが、この夏、笠間クラインガルテンで開催された「地域おこし協力隊による夏休み子ども体験教室」で将棋教室を担当しました。日本将棋連盟公認の普及指導員の資格を持っており、将棋でも地域に貢献できればと思っていたので、大変ありがたい機会となりました。

当日は、日本将棋連盟所属の人気プロ棋士佐藤紳哉七段に、「将棋のこころ」をテーマに講演をしていただいたあと、参加した子どもたち全員との指導対局、そして、最後は佐藤七段一人に対して子どもたち全員で一手ずつ交代で指すリレー将棋。指導対局は佐藤七段の八枚落ち(王と金と歩のみ)が中心で行われ、勝ったり負けたり的好勝負。リレー将棋は十枚落ち(王と歩のみ)で熱戦の末、見事子どもたちが勝利(ちょっとおまけしてもらったかもしれません)。プロのレベルの高さに触れて、少しでも夏休みの良い思い出となれば何よりです。

文化の薫るまち笠間市で将棋好きな子どもたちが増えてくれたら、うれしく思います。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも
ご覧ください

ブログ ▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】まちづくり推進課(内線 538)

笠間市国際交流員 IAN's View Vol. 2



イアン・ホリカワ 5歳のころ

ハワイに根付く日本文化

Aloha:) イアン・ホリカワです!

あれっ、ホリカワ?それに、見た目もちょっと日本人?と思う人はいるかもしれませんが、私はハワイ出身です!曾祖父が日本人で、私は日系アメリカ人4世にあたります。

ハワイには日系人が多く、面白いくらいに日本の文化や伝統が根付いています。例えば、家の中では靴を履かないことや箸を使うこと、正月に餅つきをして、お雑煮を食べたり、店ではなくとも招き猫が置いてあったりします。このように日本の文化や伝統がところどころに見られます。

実は、アロハシャツも、はじめは花柄の鮮やかな着物の生地を使っており、意外にも日本のルーツを引いています。時代とともに、生地の素材を変えたり、新しい色やデザインを取り入れたりして、今のアロハシャツになりました。

ハワイは、日本の他にも、さまざまな国の文化や食べ物、習慣に影響を受け、ハワイ独自の文化になっています。そんなハワイをもっと知っていただけるよう、またアメリカや他国の文化について紹介していけるように頑張ります。そして、皆さんに「面白い!」と感じていただき、少しでも外国のことに興味を持ってもらえたら、とてもうれしいです。

【問い合わせ】市民活動課(内線133)